

心エコー室で検査を受けた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、北大病院において、通常の診療で得られた過去の診療記録や検査結果を分析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】

心エコー法による肺循環動態の評価：心カテーテル法との比較に基づく検討

【研究機関・長の氏名】 北海道大学病院 寶金 清博
北海道大学大学院保健科学研究院 伊達 広行

【実施責任者】 加賀 早苗 （保健科学研究院・助教）

【研究の目的】

心エコー検査で求められる肺動脈圧と肺血管抵抗は、心不全の評価に不可欠な循環動態指標です。その評価法として、三尖弁逆流の流速を計算式にあてはめ算出した値が広く用いられていますが、三尖弁逆流が常に計測できるとは限らず、また、その精度が十分ではない場合もあります。一方、肺動脈弁逆流からも、肺動脈圧の情報が得られることが知られていますが、これらの意義の比較は十分行われていません。また、肺血管抵抗は、三尖弁逆流を利用する方法がよく用いられますが、肺動脈弁逆流を使う方法の有用性も、よくわかっていません。そこで、私たちは、北大病院の過去の心エコー検査の結果を詳しく調べ直し、肺動脈圧や肺血管抵抗の評価における肺動脈弁逆流の有用性を、侵襲的な右心カテーテル検査の結果と照らし合わせるにより、検討したいと思えます。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2013年1月から2016年9月までの間に、北海道大学病院を受診され、担当医が診療のために必要と判断し右心カテーテル検査と同時期に心エコー検査が行われた患者さん（目標200例）。

●利用する診断情報

年齢、性別、診断名、病歴、身体所見、検査所見（とくに心エコー検査と心カテーテル検査）、臨床経過および治療内容など

[個人情報の取り扱い]

本研究にあたっては、患者さんの個人情報保護に十分配慮します。研究担当者が北大病院内で診療記録や心エコー検査結果（画像を含む）を収集した後は、お名前、ご住所を始め、患者さんを特定できる情報を一切削除した上で研究を進めます。また、研究成果を学会や学術雑誌などに発表する予定ですが、その際、患者さんの個人情報には一切触れることはありません。

* 上記の研究に検査結果を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

札幌市北区北 12 条西 5 丁目

北海道大学保健科学研究院・助教 加賀 早苗（実施責任者）

電話 011-706-3405, FAX 011-706-3730